

脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの概要

背景・目的

- 東日本大震災・原発事故による被災12市町村では、脱炭素化の取組を組み込みながら、大きな被害を受けた地域の復興・再生を図るまちづくりの取組を推進するとともに、地域資源を最大限活用しながら、環境・経済・社会が好循環する特色ある地域循環共生圏を形成することが必要。
- 被災12市町村等において、地域内外の多くの主体が共通の目標や認識を持った上で、長期にわたり連携していくことを目指し、令和5年3月23日に「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」を設置。令和5年9月現在で約220の関係者が本プラットフォームへ参加。

主な対象エリア



プラットフォーム本体

浜通り地区の脱炭素と復興まちづくりの実現のための情報交換やネットワーク形成

<情報交換>

- ・各市町村の脱炭素の取組や課題
- ・各事業者の実施可能事業や得意技術
- ・国の施策や制度、技術的助言 など
- ・先進事例の共有

<ネットワーク形成>

- ・各市町村の課題に対し、担い手となる事業者や支援ツール等をマッチング
- ・必要に応じて、個別WGを立ち上げ、課題解決や事業化に向けて議論を深掘り

個別WG

- ・ 個別テーマについての深掘り
- ・ モデル事業の創出に向けた議論

〇〇〇に関するWG

□□□に関するWG

△△△に関するWG

...